

外務省は、平成29年12月11日(月)、ホテル椿山荘東京において、<sup>そ ぼ かつむきさんけい</sup>祖母傾山系地域(宮崎県)、一般社団法人秋田犬ツーリズム、和歌山市及び鹿児島市との共催により、平成29年度第2回「地域の魅力発信セミナー」を開催しました。駐日外交団、駐日商工会議所、企業関係者等より130名を超える来場者を得て、各団体がそれぞれの魅力をPRしました。

セミナーは二部構成で、第1部では各団体によるプレゼンテーション(各15分程度)が行われ、第2部では各自治体がブースを出展し、試飲・試食や体験コーナー、ステージプログラムを通じてそれぞれの特産品及び魅力を伝えました。

### <祖母傾山系地域(宮崎県)>

今回、宮崎県は6月にユネスコエコパーク登録が決まった生物圏保存地域を中心にPRする目的で「<sup>そ ぼ かつむきさんけい</sup>祖母傾山系地域」の名前でエントリーをしました。会場入口では、宮崎県のマスコット「みやざき犬」のひいくんが神楽装束姿で来場者をお出迎え。プレゼンテーションでは、<sup>そ ぼ かつむき</sup>祖母・傾・<sup>おおくえ</sup>大崩ユネスコエコパークの豊かな自然について紹介。また、和太鼓アーティスト集団「DRUM TAO」を起用したユネスコエコパークのプロモーションビデオも好評でした。

第2部交流会では高千穂牛のステーキやカンパチの刺し身等の試食が人気で、特にカッポ酒とよばれる青竹にそそがれた日本酒は、試飲した方にプレゼントされた青竹のコップを持っておかわりにくる来場者も多かったようです。また、冒頭にはステージ上で高千穂神楽の実演が行われました。舞い手、笛や太鼓の演奏は何とすべて高千穂町職員によるもの。神楽の舞の後には、舞い手との記念撮影や、神楽の衣装の着用体験なども行われました。

### <秋田犬ツーリズム>

秋田県北部の4自治体(大館市、北秋田市、小坂町、上小阿仁村)で構成される一般社団法人 秋田犬ツーリズムは、その名を冠した秋田犬を活用した観光プロモーションと枝豆製品を今回のセミナーの2大テーマに設定してPRを実施しました。米国出身の同法人職員とニュージーランド出身のYouTuberとの掛け合いで進められたプレゼンテーションは来場者からも高評価を得ました。

第2部では、明治26年創業の老舗料亭によるきりたんぼ鍋や枝豆を使ったワッフル、ポタージュスープ、甘酒な



来場者を出迎える秋田県大館市の「はちくん」(左)と宮崎県の「ひいくん」(右)



第1部プレゼンテーションの様子



秋田犬とのふれあいコーナー  
(写真提供:(一社)秋田犬ツーリズム)

どがふるまわれました。ブースで提供した商品については、原材料や保存方法、連絡先などの詳細が記載されたパンフレットを英語の他に中国語など複数言語で用意。早速、企業や大使館から大豆や枝豆製品のサンプル依頼があったようで、今後の展開が期待されます。また、ガーデンに設けられた秋田犬ふれあいコーナーでは秋田犬8頭が登場し、外交団等は一緒に写真を撮るなどして秋田犬とのふれあいを楽しみました。ステージ上では、秋田犬アイドルグループ「MOFU MOFU☆DOGS」のミュージックビデオを上映して秋田県北部の観光地をPRした他、狩猟を生業としてきたマタギについて紹介。上映したビデオは、Youtubeですでに125万回以上再生された人気の動画で、セミナー当日も来場者から二次利用依頼があるなど反響がありました。

### <和歌山市(和歌山県)>

和歌山市は、独自の食文化を中心に駐日外交団等にPRしました。プレゼンテーションの前半では、和歌山市が県内の世界遺産である熊野古道や高野山への訪問を開始するのに便利な土地であることや景勝地「和歌の浦」が紹介されました。後半では、和歌山ラーメンやひやしあめなど和歌山市が誇る食文化のPRが行われ、今回のセミナーのために特別に作成した約2分半の映像も来場者の食欲をそそっていたようです。



和歌山ラーメンの試食

第2部では、和歌山市のラーメン屋には欠かせない早なれ寿司が和歌山ラーメンとセットで提供された他、和歌山市の漁港街「加太」の名産である真鯛を使った鯛どんぶりがふるまわれました。どちらも地元からシェフが応援に駆けつけ、調理法などについてホテルの調理担当者にアドバイスした他、来場者に和歌山市の食の魅力をPRしました。また、和歌山県産生姜を使用したジンジャー飲料がふるまわれ、特に炭酸水で薄くしてレモンを加えたジンジャーエールが大変好評でした。ステージ上では、和歌山市に関するクイズ大会が行われ、「和歌山市出身で明治時代に外務大臣を務めた人物は？」という歴史に関する問題も出題され、正解者には和歌山市の特産品がプレゼントされるなど会場を盛り上げました。

### <鹿児島市(鹿児島県)>

平成30年のNHK大河ドラマの舞台となる鹿児島市は、西郷隆盛が生まれ育ったまちとして魅力をPRしました。西郷隆盛は、トム・クルーズが主演した映画「ラストサムライ」のモデルと言われた人物であり、外国人の来場者にとっても馴染みがあるサムライの一人だったようです。プレゼンテーションでは、薩摩のサムライが受け継いできた示現流という剣術や、西郷隆盛の時代に製作された薩摩切子などについて紹介しました。



薩摩焼酎のPR

第2部交流会では、鹿児島市の郷土料理でさつまいもや人参、にらなどをまぜた揚げ物「がね」の他、ヤマイモと

米粉、砂糖というシンプルな材料で作った鹿児島を代表するお菓子「かるかん」などを提供しました。試飲試食の中でも特に焼酎が好評だったようです。また、日本一の竹林面積を誇る鹿児島では丈夫で通気性の良い竹は古くから鹿児島の人々の暮らしと密接に結びついていましたが、今回、体験コーナーでは竹工作体験コーナーを設け、用と美を兼ね備えた竹細工製品の魅力を来場者にアピールしていました。鹿児島市は東京都内にある鹿児島県出身者のための学生寮「鹿児島奨学会」に在席し、留学経験のある学生5名を通訳要員として参加させていましたが、学生たちにとっても郷土・鹿児島のことをあらためて学びつつ英語を活用する良い機会となったようです。さらに、ステージ上では、示現流の演武が披露され、来場者はその迫りに圧倒されていました。

セミナーに参加した外交団等からは、「日本の地方が身近になる素晴らしい機会となった」、「継続的に開催して、各地方の魅力を発信してほしい」などの声が聞かれました。また、共催した自治体・団体からは、「新たなビジネスチャンスを得ることが出来た」、「外国人目線を大事にしたPRが効果的だった」、「セミナーを通じて大使館関係者と交流することができ、今後、大使館を訪問するなど新たなネットワークを構築していきたい」などの感想がよせられました。外務省では、引き続き、駐日外交団等に地方の魅力を発信する場を提供するなど様々な取組を行ってまいります。

(了)